



美濃加茂^新24景

問みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム ☎28-1110

04 段差のある街並み

木曽川や飛騨川の川岸から、山の方へ歩いたり、自転車で向かったりすると、緩やかな坂道が続いているように感じられます。また、山手小学校のあたりから南へ進んでいくと、土地が少しずつ低くなっ
ていくことも実感できます。こういった段差は、お
おむね木曽川や飛騨川に沿っているようです。

これらの段差は、約30万年前から1万年前頃まで
には形作られました。その頃の川が運んだ、両手で
抱えるほどの石から砂にいたるまでの層が積み重な
り、時には削られて段差のある地形(河岸段丘)がで
きました。この段差の境を利用して、美濃太田駅か
ら坂祝駅へ向かう高山本線が造られています。

段差(段丘^{だんきゅうが})の付近には、太古からそれぞれの
時代に生きた人々が集まり、生活の場を形成してき
ました。車が行き交うには少し難しいような細い道
や古くから続く家並みを今もみつけることができま
す。この崖の付近に暮らしてきた古老は「涸れたこ
とのない清水で、質のええ水がこんこんと湧いとっ
て、皆がよう使ってきた大切な清水でなも」と語り
ます。古くから人々がこの場所に注目し、大切にし
てきた理由の一つなのでしょう。

川のほとりの街らしい暮らしの姿です。